

スプレー系カーネーション新系統「福園12号」と「福園13号」の育成							
[要約] 花形やスプレーフォーメーションが良好で、花色が淡紫ピンク、花数が多いスプレー系カーネーション新系統「福園12号」および「福園13号」を育成した。							
園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室					連絡先	092-922-4364	
部会名	園芸	専門	育種	対象	花き類	分類	指導

[背景・ねらい]

カーネーションの切り花生産では、従来のスタンダード系（一茎一花）にかわってスプレー系（一茎多花）品種の作付け割合が増加している。しかし、本県では冬季の寡日照条件によって茎が軟弱となり、スプレーフォーメーションが乱れ、花数が減少する等の問題を生じており、冬春出し用優良品種の育成が求められている。

そこで、本県の気象条件に適した、茎が強く、花色や花形及びスプレーフォーメーションが良好なスプレー系カーネーションを育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 平成8年度に交配し、得られた交雑実生個体の中から、スプレー系で茎が強く、花色や花形、スプレーフォーメーションに優れた2系統を選抜した（表1）。
2. 「福園12号」は、花色が淡紫ピンクで開花開始時期が2月上旬と遅いが、花弁の刻みは小さく花形が優れる。分枝数と一次着蕾数も多く、茎が強くスプレーフォーメーションがよい（表1）。
3. 「福園13号」は、花色が淡紫ピンクで開花開始時期が12月上旬の中生である。花弁の刻みは中程度で分枝数と一次着蕾数が多く、茎が強くスプレーフォーメーションがよい（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 職務育成申請後、品種登録出願予定。

[ 具体的データ ]

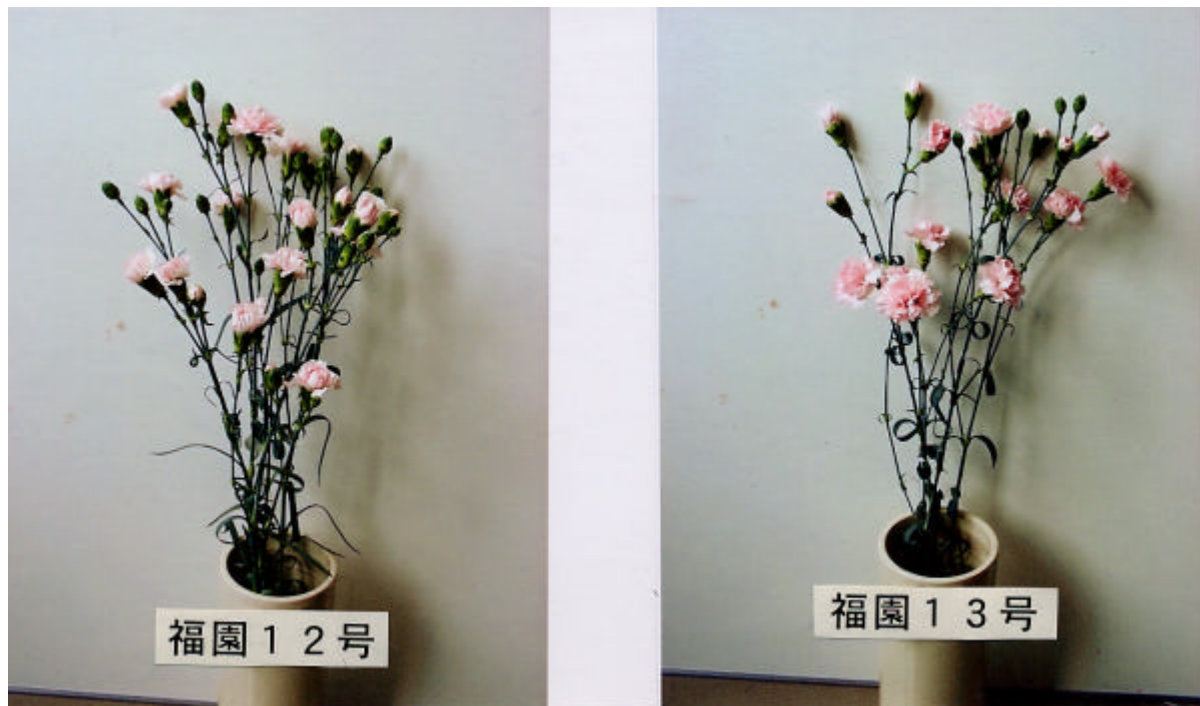
表 1 育成系統の特性

項目	系 統 番 号		ハ <sup>o</sup> -ハ <sup>o</sup> ラ ( 対 照 )
	福園 1 2 号	福園 1 3 号	
交配親	ジャニート× サムス <sup>o</sup> ライト <sup>o</sup>	ジャニート× サムス <sup>o</sup> ライト <sup>o</sup>	-
交配年度	平成8年	平成8年	-
花色	淡紫ピ <sup>o</sup> ンク	淡紫ピ <sup>o</sup> ンク	明紫赤
花卉の刻み	小	中	中
ス <sup>o</sup> レ <sup>o</sup> フ <sup>o</sup> ォ <sup>o</sup> -メ <sup>o</sup> シ <sup>o</sup> ョ <sup>o</sup> ン	優	優	良
草丈 (cm)	98	111	107
分枝数	10.3	9.2	6.6
一次着蕾数	5.8	5.5	4.7
茎の強さ	強	強	強
茎の太さ (mm)	4.5	4.1	4.4
開花開始時期	2月上旬	12月上旬	12月上旬

注) 1. 6月25日定植、1回半摘心、硬質ハウス、ベンチ栽培

2. 茎の太さ：5節中央部の長径

3. 分枝数：1回半摘心後の発生分枝数



[ その他 ]

研究課題名：ダイアンサス属の育種

予算区分：経常

研究期間：平成11年度（平成7～11年）

研究担当者：國武利浩、谷川孝弘、黒柳直彦、小林泰生、松井 洋

発表論文等：平成7～11年度カーネーション現地委託試験報告書